

## News Release

# デロイト トーマツと岡山大学が 患者サポートプログラムの共同研究を開始

「Salesforce Health Cloud」を活用、治療への患者の関与を高め、医療の「質向上」と「効率化」を兼ね備えた統合ケアの実現を支援

デロイト トーマツ グループのデロイト トーマツ コンサルティング合同会社（東京都千代田区、代表執行役社長 佐瀬真人、以下 デロイト トーマツ）と国立大学法人岡山大学（岡山県岡山市、学長 那須保友、以下 岡山大学）は、株式会社セールスフォース・ジャパンのクラウド型の患者管理ソフトウェア「Salesforce Health Cloud」を活用し、治療への患者の積極的な関与を高めるサポートプログラムの共同研究を始めました。

デロイト トーマツと岡山大学は、医療の“質向上”と“効率化”を兼ね備えた統合ケアのためには、医療を提供する側の努力だけでなく、治療への患者の積極的な関与を高めることが必要だと考えています。これを実現するために、医療現場の問題点やニーズを特定したうえで、患者がどのように関与するのが最適かを共同で研究し、2024 年中頃にかけてサポートプログラムとそのシステムのプロトタイプ開発を目指します。

患者の積極的な関与を高めるために、医療機関内の臨床データと患者の非臨床データを統合したり、医療従事者・患者の双方向のコミュニケーションを生み出したりすることが可能なクラウド型ソフトウェアの Salesforce Health Cloud を活用します。

超高齢化社会に直面する日本では、医療機関における入退院業務の複雑化とそれに伴う負担増加を背景に、入院患者への一貫した支援である Patient Flow Management（以下「PFM」）の構築が急務となっています。一方で、医療現場では高いレベルでのリスクマネジメントが求められる故に、局所化したワークフローが長年にわたって積み上げられており、全体最適化された統合ケアの実現は容易ではない状況です。

本研究によって開発を目指すソリューションが、日本における最適化された統合ケアの実現の一助となることを目指します。

## ■共同研究の内容

### 1. PFM における医療現場の問題点・ニーズの特定

ソリューション開発に向けては、実際の医療現場において「医療の質」や「患者体験」、「職員のやりがいや働きやすさ」、「医療リスク」などの観点で影響を及ぼしている問題点を洗い出し、医療従事者側および患者側のニーズを特定する必要があります。本研究では、岡山大学病院の職員の協力のもと、ワークショップ等を通じた現場の声から PFM における医療現場の問題点及びニーズを特定します。

## 2. ソリューションのプロトタイプ開発

問題点を解決するためには、既存の医療現場におけるワークフローに則りながら、現場のニーズにフォーカスしたソリューションが求められます。本研究では、顧客関係管理（CRM）のグローバルリーダーであり、ヘルスケア領域においても豊富な知見を有するセールスフォース・ジャパンとの連携を通じ、拡張性・カスタマイズ性の高い Salesforce Health Cloud を用いてプロトタイプを開発します。

- **Salesforce Health Cloud について**

- <https://www.salesforce.com/jp/products/health-cloud/overview/>

※Salesforce、Health Cloud などは、salesforce.com, inc.の商標です。

大澤 晋／Susumu Oozawa

岡山大学病院 医療安全管理部 講師（特任）

1972 年愛媛県生まれ。2000 年信州大学医学部卒。心臓血管外科修練指導医、日本血管外科学会評議員。岡山大学大学院修了後、ドイツ・デュッセルドルフ大学病院留学、岡山大学病院血管外科チーフを経て 2020 年に外科医から医療安全管理部講師に就任。現在、最高質安全責任者。論文多数執筆。

根岸 彰一／Shoichi Negishi

ライフサイエンス&ヘルスケア

デロイトトーマツ コンサルティング 執行役員

医薬・医療機器等の内資/外資系ライフサイエンス企業や他業界からの参入企業に対して、戦略立案、オペレーション/組織改革、およびデジタル戦略立案/実行支援、アウトソーシング戦略立案、当局規制コンプライアンス対応などのプロジェクトをクロスボーダー案件も含め数多く手がけている。

西上 慎司／Shinji Nishigami

ライフサイエンス&ヘルスケア

デロイトトーマツ コンサルティング 執行役員

民間シンクタンクを経て現職。製薬、医療機器メーカーを中心に、マネジメント変革、グローバル組織設計、デジタル戦略・組織構築などのプロジェクトを手掛ける。ヘルスケアの未来像を描いた「データドリブン・ライフプリリアンス」の監修など、講演・寄稿多数。

納田 祐介／Yusuke Nohda

カスタマー&マーケティングテクノロジー

デロイトトーマツ コンサルティング 執行役員

社会的課題や業界/業務の重要な課題に対し、最先端のクラウドソフトウェア(Salesforce)を活用したソリューションを、End to End(構想策定～要件定義～システム設計/開発～運用/保守・DevOps)で提供している。

### < 報道機関の方からの問い合わせ先 >

●デロイトトーマツグループ 広報担当 西原

Tel: 03-6213-3210

●岡山大学病院 医療安全管理部 大澤 晋

Tel: 086-223-7151（代表）

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人、DT 弁護士法人およびデロイト トーマツ コーポレート ソリューション合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約 30 都市以上に 1 万 5 千名を超える専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト ([www.deloitte.com/jp](http://www.deloitte.com/jp)) をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）のひとつまたは複数指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL および DTTL の各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は [www.deloitte.com/jp/about](http://www.deloitte.com/jp/about) をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは DTTL のメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける 100 を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、リスクアドバイザー、税務、法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約 9 割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来 175 年余りの歴史を有し、150 を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約 345,000 名のプロフェッショナルの活動の詳細については、([www.deloitte.com](http://www.deloitte.com)) をご覧ください。

Member of  
**Deloitte Touche Tohmatsu Limited**